

4. 学校長挨拶

本校は、2019年4月に調理師養成施設の指定を受けて調理師科を新設し、校名を「ハッピー製菓調理専門学校」と改称いたしました。パティシエ科は2014年4月に製菓衛生師養成施設として指定を受けており現在6年目を迎えます。千葉県で唯一、国家資格「製菓衛生師」を在学中に受験可能なカリキュラムにて授業を行い、現場で求められるスキルを習得していきます。また、調理師科は西洋料理・日本料理・中国料理をを学び、調理免許取得に必要な栄養や衛生などの理論や知識を身に付け、卒業と同時に申請を行うことで調理師免許が交付されます。

さて、現在は食への関心が年々高まり、少子化の中で製菓製パン・調理分野を希望する若者が増加傾向にあります。食の選択が広がる中で消費者の食の安全に対する意識は高く、「美味しく安全なもの」を提供するために製菓衛生師・調理師の学習を通して正しい知識と技術を習得していきます。

近年、日常生活の中でコンビニエンスストアが身近な存在となり、さらに個性豊かな店舗が数多く展開され消費者として選ぶ楽しみが広がっています。同時にインターネットを利用した情報収集やお取り寄せギフトなどお客様の店や商品を選ぶ基準や購入方法も時代の流れと共に大きく変化してしている業界です。

しかし、少子高齢化が進み労働者を確保することが、企業としても大きな課題であることは間違いありません。時代と共に変化し成長し続けてきた、日本の菓子文化・料理文化と高度な技術を若者へ継承していくためには、「人財」が不可欠であり、そのためには専門学校の教育が今後の業界を支えていくでしょう。人工知能(AI)の進歩によりさまざまな作業が機械化され、作業がスリム化することは職を奪うのではなく、人工知能の導入によって生まれた時間が新たな取り組みに使われることを願っています。

学校法人中村学園の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」にありますが、ハッピー製菓調理専門学校にも、根底にはその理念が流れています。

相手の立場に立ち、お客様の気持ちを理解し、真心と思いやりを持ってお菓子やパン作りに努める姿勢を大切にしています。

お客様の幸せを自らの喜びと感ずることのできる、「おもてなしの心をもった製菓・製パン・調理技術者」の育成をしていきます。

2019年4月1日

ハッピー製菓調理専門学校

校長 神保勝司